

明治国際医療大学誌 投稿規程

平成2年11月8日改訂
平成6年7月28日改訂
平成9年11月12日改訂
平成11年6月10日改訂
平成13年3月16日改訂
平成15年9月24日改訂
平成21年1月9日改訂
平成23年6月1日改訂
平成23年11月1日改訂
平成24年3月1日改訂

1. 投稿資格

責任著者（corresponding author）は、原則として本学の教職員とする。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

責任著者は投稿原稿が投稿規程に適合しているかをチェックし、責任を持って投稿する。投稿及び改訂等の編集委員会との連絡は全て、責任著者を通じて行う。

2. 倫理

ヒトを対象とした論文は、ヘルシンキ宣言の精神に則って行われた研究でなければならない。

研究倫理委員会の承認番号を付記し、承認を受けていることを明記する。

また、動物を用いた研究については、十分に動物福祉に配慮したものでなければならない。動物実験委員会の承認番号を付記し、承認を受けていることを明記する。

3. 投稿論文の種類

論文の区分は、総説（本学に関連する分野での研究レビュー）、原著（オリジナルな研究論文）、報告（原著論文とするには不十分な症例・統計・調査など）、その他（資料・トピックス等）とする。

4. 投稿原稿の採否

原稿の採否は、査読を行ったうえ、編集委員会にて決定する。

なお、原稿の一部削減、修正加筆などを投稿者に要請することがある。

5. 投稿要領

(1) 原稿の作成は、原則として次のとおりとする。

A4版で、12ポイント活字を用い、上下2 cm、左右3 cmのマージンを設定して、頁番号は表紙を第1頁として抄録まで順次記入すること。（図表には頁数をつけない）

和文原稿については35字×25行の横打ち、英文原稿はダブルスペース打ちとする。

(2) 原稿の配列は、「表紙、要旨、Ⅰ. はじめに、Ⅱ. 方法、Ⅲ. 結果、Ⅳ. 考察、Ⅴ. 結語、謝辞、文献、抄録、図表、図説」とする。結語、辞等は必要に応じて記載する。要旨、謝辞、文献にはローマ数字をつけない。

医学関係以外の場合は、内容に準じたセクションわけをⅠ、Ⅱ、Ⅲで行う。

(3) 表紙には次の項目を記載する。

- ① 論文の区分
- ② 論文表題
- ③ 著者名
- ④ 所属機関

- ⑤ 原稿枚数
- ⑥ 図の枚数（写真含む）、表の枚数
- ⑦ 連絡先（e-mailアドレス含む）
- ⑧ キーワード（5個以内の日本語および英語）

(4) 要旨・抄録の記載要領は、次のとおりとする。

- ① 日本語の論文には500字以内の和文要旨をつけ、別に300語以内の英文抄録をつける。
また英語の論文には300語以内の英文要旨をつけ、別に500字以内の和文抄録をつける。
- ② 要旨・抄録は、はじめに論文表題、著者名、所属機関を記し、論文内容の概要を記載する。
- ③ 論文内容の要旨・抄録は目的、方法、対象、結果、考察等を項目ごとに記載し構造化することが望ましい。
医学関係以外の論文や総説については構造化する必要はない。

(5) 学術用語以外は常用漢字、新仮名づかいを用いる。

(6) 数字はアラビア数字を用い、単位は原則として国際単位系を用いる。

(7) 論文は、原則として表紙を除き和文16,000字以内、英文4,000語以内とし、図表の総数は、10までとする。使用言語は日本語または英語とする。

英文については、投稿前に責任著者によりネイティブの英語チェックを受け、その旨を書いた証明を添付すること。

その他に属する投稿論文は、英文抄録を必要としない。

鍼灸系臨床研究については<http://www.stricta.info/>を参照すること。

(8) 図表・写真を掲載する場合は、原則として次の事項に注意して提出する。

- ① 図表・写真の下に図番号およびタイトルを記載する。ただし、最終原稿の図表・写真については、記載は不要とする。
- ② 本文原稿の右欄外に図表・写真の挿入位置を指定する。
- ③ 図表・写真の大きさは半サイズ8cm以下、全サイズ17cm以下とし、印刷されたときの大きさのものを添付する。
- ④ 図表・写真の説明はタイトルも含め別紙に図説として記載する。
- ⑤ オンラインジャーナルのためカラー図数の制限はしない。

(9) 文献は、本文に用いられたもののみを引用順にあげ、文献番号を本文の右肩につける。

(例)とされている1-3, 5, 10).

(10) 引用文献の記載は以下の例にならって行う。

① 雑誌記載例

雑誌の場合は、著者氏名：論文表題。雑誌名、巻：初頁-終頁（通巻頁）、発行年（西暦）の順に書く。著者が4名以上の場合には、4番目以降の著者名は略し、『et al.』または『ら』をつける。

〔例1〕 咲田雅一、今城茂良、畑 幸樹ら：血清免疫抑制因子の免疫吸着法について。日癌治誌, 22:1334-1340, 1987.

〔例2〕 Tachibana M, Morioka H, Machino M, et al.: Wheat germ agglutinin bindingsites in the organ of Corti as revealed by lectin gold labeling. Hearing Res, 27:239-244, 1987.

② 単行本記載例

単行本の場合は、著者または編者：論文表題・書名、巻数、版数、発行社、発行地、初頁-終頁、発行年、を記載する。

〔例1〕 佐藤昭夫：ストレスと自律反応. 高木博司, 大村 裕, 伊藤正男編：脳の生体警告系, 東京大学出版会, 東京, pp 27-42, 1986.

〔例2〕 Simons D: Muscular pain syndromes. In Friction JR and Awad E (eds): Advances in Pain Research and Therapy, Vol 17, Raven Press, New York, pp1-41, 1990.

(11) 原稿は、上記 (1) から (10) が完備したものとする。

(12) 原稿の投稿は以下のとおり行う。

- ① 文字原稿と図表・写真は電子データを電子メールの添付ファイルとして送付する。(研究支援課 気付 明治国際医療大学誌編集委員会宛 (sec_scie@meiji-u.ac.jp))
- ② 文字原稿の電子データの形式は、MSワードが望ましい。なお、文字原稿のうち、図説のみ別ファイルとする。
- ③ 図表・写真の電子データの形式は、全ての図表・写真をひとつのPDFファイルとすることが望ましい。

(13) 受理された最終原稿データの作成は以下のとおり行う。

- ① 文字原稿と図表・写真は電子データを電子メールの添付ファイルとして送付またはCD-R等のメディアで提出する。
- ② 文字原稿の電子データの形式は、MSワードが望ましい。なお、文字原稿のうち、図説のみ別ファイルとする。
- ③ 図表・写真の電子データの形式は、表についてはMSワード、MSエクセル・図についてはEPS, AI, PPT, PDF形式、写真についてはJPEG・TIFF・BMPなどの画像形式の高解像度データが望ましい。
なお、図表・写真は原則として著者が提出したものを画像処理せずに使うため、極力鮮明なものを提出する大きさは半サイズ8cm以下、全サイズ17cm以下とし、印刷されたときの大きさのものを添付する。
図・写真・表は1点ずつ個別のファイルにする。
- ④ その他、最終原稿の作成にあたっては、編集委員会が指示する形で作成および提出する。

(14) 投稿は随時受け付ける。9月号は同年4月末、3月号は前年10月末を〆切の目安とする。なお、博士学位論文としての目的投稿する場合は、必ず10月末の締め切りを厳守すること。

(15) 本雑誌はオンラインジャーナルのため、オンデマンド印刷を希望する場合は著者の実費負担とする。

6. 著作権の譲渡について

掲載を受理した論文の著作権は編集委員会に帰属することとする。なお、著者は投稿論文の掲載が受理された時点で、著作権譲渡に関する同意書（別紙様式）に署名押印する。

7. 記事について

投稿論文以外の記事については、編集委員会で掲載の承認されたものについて、査読なしで掲載する。講演会・学術集談会・シンポジウム等については、プログラムと要旨のみとする。それ以外の記事については、編集委員会からの依頼記事とする。